公益社団法人 企業メセナ協議会
Association for Corporate Support of the Arts

PRESS RELEASE

2026 年 10 月 22 日
2026 - No. 5

「メセナアワード 2026」受賞 6 活動決定
メセナ大賞に「サラっと一句！わたしの川柳コンクール」
第一生命保険株式会社 ／ 株式会社第一ライフグループ

本件は 10 月 22 日(木)14:00、文部科学省記者クラブにも資料を配布しています

公益社団法人企業メセナ協議会(東京都港区芝 5-3-2、理事長:夏坂真澄)は、「メセナアワード 2026」の受賞活動 6 件(「メセナ大賞」1 件、「優秀賞」5 件)を決定しました。「メセナアワード」は、企業による芸術文化の振興とこれを通じた心豊かなより良い社会づくりの観点で特に優れた活動を顕彰するものです。(後援:文化庁)

大賞の「サラっと一句！わたしの川柳コンクール」は、江戸時代に俳諧から派生した短詩型文学の一類型である川柳を通じて、言葉の力や価値への再認識を促し、社会全体の相互理解や共感を育む仕組みとして発展させている点などが受賞につながりました。優秀賞については、若手アーティストの育成、服飾文化の保存と振興、香りの文化的価値の発信、自社技術を生かした地域の団体や大学との連携・共創、地域の社会資本整備と音楽文化の普及・振興への取り組みが選ばれました。なお、優秀賞にはそれぞれの活動がどのように社会に貢献しているか、特に評価の対象となった点を記載しています。

「メセナアワード 2026」 受賞活動　＊ 詳細は 3 ページ以降をご覧ください		( )内は活動実施場所
メセナ大賞		**第一生命保険株式会社／株式会社第一ライフグループ**　(全国各地) サラっと一句！わたしの川柳コンクール
優秀賞	新たな芸術文化を つくる人を育む	**一般財団法人神山財団**　(東京都、全国各地) 全国の芸術分野の大学院へ通う次世代の才能溢れる人材への 奨学支援事業
	移ろうファッションを 文化財にし、次の美へつなぐ	**公益財団法人京都服飾文化研究財団／**　(京都府、全国各地、海外) **株式会社ワコールホールディングス** 西洋服飾関連資料の収集・保存・研究と企画展の開催
	記憶に残る香りの文化で 五感をひらく	**高砂香料工業株式会社**　(東京都) 高砂コレクション®ギャラリー
	危機にある伝統と先端技術が 出会い、未来を創る	**ヤマハ株式会社**　(東京都、静岡県、沖縄県) 沖縄三線文化継承プロジェクト−技術貢献と共創−
	美味しい、豊かな時間を つくり続ける	**株式会社六花亭**　(北海道) ふきのとうホール・真駒内六花亭ホール・はまなしホールの コンサートシリーズ

MECENAT AWARDS 2026

「メセナアワード 2026 贈呈式」

日時：　2026 年 11 月 25 日(水)15:00～17:00
会場：　スパイラルホール(東京)

＊受賞各社には贈呈式にてトロフィーと表彰状が贈られます

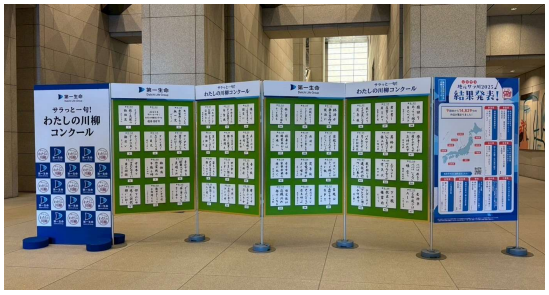
「メセナアワード 2026」概 要

◆ 選考対象活動

日本国内に所在する企業や企業財団、またそれらの連合体が、2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日に実施したメセナ（芸術文化振興による心豊かなより良い社会づくり）活動で、「This is MECENAT 2025」認定活動 198 件（136 社・団体）を対象に選考。

◆ 選考ポイント

1. 芸術文化の向上に貢献している
2. 芸術文化の普及に貢献している
3. 社会や地域に貢献している
4. 企業独自のノウハウや資源を活用している
5. 活動が継続・発展している
6. 活動に独創性がある



2025 年度優秀 100 句発表パネル
（第一生命保険 日比谷本社ビルロビー）

◆ 選考委員（2026 年度）

山梨絵美子｜千葉市美術館 館長／日本博物館協会 会長 ※選考委員長
大島 まり｜東京大学生産技術研究所 教授／東京大学東京カレッジ 副カレッジ長
永山祐子｜建築家
八反田 弘｜東京藝術大学 名誉教授
松尾卓哉｜（株）１７ クリエイティブディレクター／CMプランナー／コピーライター （以上、敬称略）
夏坂真澄｜企業メセナ協議会 理事長

「メセナアワード」とは

企業によるメセナの充実と社会からの関心を高めることを目的に、1991 年「メセナ大賞」（2004 年より「メセナアワード」に改称）を創設しました。以来、前年度に実施されたメセナ（芸術文化振興による心豊かなより良い社会づくり）活動を対象に選考を行い、2025 年までに、全国各地の優れたメセナ活動 259 件を表彰しています。

- 「メセナアワード」ウェブサイト： https://www.mecenat.or.jp/ja/mecenat_awards/mecenat_awards
- 「This is MECENAT」ウェブサイト： https://mecenat-mark.org/

■ 公益社団法人企業メセナ協議会

芸術文化の振興とこれを通じた心豊かなより良い社会づくりを目的として、企業をはじめ芸術文化にかかわる団体が参加、協働する民間の公益法人。創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与すべく、企業メセナの推進を中心に、芸術文化振興に関する調査研究、認定・顕彰、助成、交流、発信等の事業を行っています。

会長：二宮雅也（SOMPOホールディングス[株] 特別顧問）、理事長：夏坂真澄（花王[株] 前顧問）。

会員：124 社・団体（2026 年 10 月 1 日現在）。

【本件に関するお問合せ】公益社団法人企業メセナ協議会 広報：佐藤／認定・顕彰：藤本
〒108-0014 東京都港区芝 5-3-2 ＋SHIFT MITA 8 階
Tel: 03-5439-4520｜Fax: 03-5439-4521｜E-mail: press@mecenat.or.jp

■「メセナアワード 2026」受賞活動の紹介

メセナ大賞 ： 第一生命保険株式会社／株式会社第一ライフグループ
サラっと一句！わたしの川柳コンクール

五・七・五の十七音に、日常の出来事やその時々の思いを込めて詠んだ川柳を全国から募る「サラっと一句！わたしの川柳コンクール」（通称：サラ川）は、今回で 40 周年を迎える。もともと第一生命保険の社内企画の川柳コンテストとして始まり、1987 年から「サラリーマン川柳コンクール」の名称で一般公募を開始した。毎年の世相を反映したベスト 10 の発表は、各種メディアでも広く伝えられている。

2018 年からは地域活性化や地域の魅力発信を目的として、各地の自治体などと連携して「地元サラ川」も開催しており、活動の幅を広げている。

さらに、2022 年度（2023 年発表分）、名称を「サラリーマン川柳コンクール」から現在の「サラっと一句！わたしの川柳コンクール」へ変更した。これにより、より幅広い世代や属性の人々が参加しやすくなり、その年の社会の動きや流行を反映した多様な句が寄せられるようになった。2025 年も 5 万 4,302 句の応募が寄せられ、サラ川はより多くの人々に親しまれるコンクールへ進化している。

川柳は、江戸時代に俳諧から派生した日本の短詩型文学であり、「穿（うが）ち」「おかしみ」「軽み」といった要素を重視し、人情や社会風刺を詠む日本独自の大衆文学として発展してきた。人々の思いや社会の変化を映し出す鏡として川柳を広めるとともに、SNS など情報があふれる現代において、言葉の力や価値をあらためて認識させていることも、サラ川の大きな特徴といえる。

40 年にわたり世相を映し続けてきたサラ川。その歩みは、人々の暮らしや価値観、社会の変化の歴史ともいえる。今後も人々の思いや時代の変化を共有し、相互理解や共感を育む取り組みとして、さらなる発展が期待される。

【受賞理由】

●誰もが参加しやすく、社会全体の相互理解や共感を育む取り組みを、時代に対応しながら長年継続している。

●江戸時代から続く川柳の文化を継承し広めるとともに、言葉が持つ力や価値への理解の深まりを促している。



2025 年度ベスト 10 発表式
（第一生命保険 日比谷本社ビルロビー）

＜受賞コメント＞ **第一生命保険株式会社 代表取締役社長 隅野俊亮 様**

このたび、第一生命「サラっと一句！わたしの川柳コンクール」（以下、サラ川）がメセナ大賞を受賞いたしましたことを、大変光栄に思います。

サラ川には毎年、世相を映したものから思わず笑顔になるものまで、多くの作品が寄せられます。皆さまが日常の喜怒哀楽を五・七・五に込めて詠まれた一句一句が、多くの共感を呼び、広く親しまれてきました。

サラ川 40 周年という記念すべき節目の年に、このような賞をいただけたことを大変うれしく思うとともに、ご応募くださった皆さまに心より感謝申し上げます。

これからも、皆さまに愛されるサラ川として、新たな共感と笑顔を届けてまいります。

【企業プロフィール】
第一生命保険株式会社 （2026 年 3 月末現在）

本社所在地	：東京都千代田区
主な事業	：生命保険業(個人・法人向け各種保険の販売・保全等)
URL	：https://www.dai-ichi-life.co.jp/

【企業プロフィール】
株式会社第一ライフグループ （2026 年 3 月末現在）

本社所在地	：東京都千代田区
主な事業	：国内保険事業・海外保険事業・アセットマネジメント事業等
URL	：https://www.daiichilife-group.com/

■「メセナアワード 2026」受賞活動の紹介

優 秀 賞 ：　－新たな芸術文化をつくる人を育む－

一般財団法人神山財団

全国の芸術分野の大学院へ通う次世代の才能溢れる人材への奨学支援事業

半導体事業などを手がけるマクニカの創業者・神山治貴氏により、2013 年に設立された神山財団は、「文化の向上・芸術の振興に貢献でき、芸術が本来持つ“癒し”を追求する人材の育成事業」として、全国の美術系大学院に通う次世代の才能あふれる学生を対象に奨学支援する「芸術支援プログラム」を 2014 年より実施している。2026 年までの 13 年間で累計 280 名の奨学生を支援してきた。

同プログラムでは、奨学生に対して最長 2 年間にわたり総額 60 万円の奨学金を支給している。さらに、「財団主催の作品展へ出展する資格の付与」「奨学生同士によるグループ展開催の補助」「作家活動に関する勉強の機会や、同財団の奨学生との交流の場の継続的な提供」などのサポートも行っている。

たとえば、2025 年には渋谷で奨学生による作品展「第 11 回 KAMIYAMA ART Exhibition」を開催。約 950 名が来場し、若手作家と来場者が交流する双方向コミュニケーションの場も創出した。

また、2024 年には、上野の森美術館で財団主催の「KAMIYAMA ART カドリエンナーレ」を開催し、歴代の奨学生であるアーティストが作品を発表する機会を提供した。同展覧会は、年代を超えて多様な人々が芸術に触れる機会を提供すべく、入場料・図録配布も含めて無料で開催され、約 4,800 名が来場した。2024 年の開催を第 1 回とし、今後も 4 年に一度の開催が予定される。

このほか、奨学生と卒業生を対象とする勉強会や交流会なども実施している。こうした継続的かつ多面的な支援は、日本の芸術文化の未来を担う若手アーティスト育成に大きく貢献している。

【受賞理由】

●国内の若手アーティストを育てること、支えることで日本美術の発展に貢献している。

●若手アーティストへ発表の場を提供するとともに、広く人々が芸術に触れる機会も創出し、鑑賞者の裾野を広げている。



年 1 回、全奨学生 280 名を対象に開催する作家活動に関する勉強会および交流会

＜受賞コメント＞　**一般財団法人神山財団　理事長　神山治貴　様**

このたびは、神山財団の芸術支援プログラムにこのような栄誉ある賞を賜り、心より御礼申し上げます。

芸術には人の心を癒し、前を向く力を与えるものがあると感じたことが、本活動の原点となっています。2014 年に始まった本プログラムでは、「芸術が本来持つ“癒し”を追求する人材」の育成を目指し、全国の美術大学等で絵画を学ぶ大学院生を支援してまいりました。奨学金に加え、作品発表の機会や勉強会、交流、グループ展への助成など、作家として歩んでいくための経験やつながりを提供しています。

今回の受賞を励みに、これからも作家たちに寄り添い、芸術を通じて新たな価値や文化が生まれる環境づくりに努めてまいります。

【団体プロフィール】 一般財団法人神山財団　（2026 年 9 月現在）

団体所在地	：	神奈川県横浜市
主な事業	：	健全な社会づくりに貢献できる次代を担う人材の育成事業
URL	：	https://www.kamiyama-f.jp/

■「メセナアワード 2026」受賞活動の紹介

優 秀 賞 ： －移ろうファッションを文化財にし、次の美へつなぐ－
公益財団法人京都服飾文化研究財団／株式会社ワコールホールディングス
西洋服飾関連資料の収集・保存・研究と企画展の開催

京都服飾文化研究財団は、現代ファッションとその源流の西洋服飾や関連する文献・資料を体系的に収集、保存、研究し、その成果を社会に発信することを目的とする研究機関で、1978 年にワコールの出捐によって設立された。

特に 18 世紀から現代に至る服飾関連のコレクションを充実させており、衣服など約 1 万 3,000 点、関連資料約 2 万点を収蔵している。光・湿度などの環境リスク、汗・皮脂によるダメージ、補修技術の専門性などから、衣服の文化財としての保存は難しい中、同財団はその膨大なコレクションを維持している。

また、公開活動として、国内外の美術館と連携した企画展や財団が運営する KCI ギャラリーで、収蔵品の展示や研究成果の発表を行っている。

2024 年から 2025 年にかけては、「LOVE ファッション―私を着がえるとき」展を開催。京都国立近代美術館、熊本市現代美術館、東京オペラシティ アートギャラリーと共同で開催し、着る人の情熱や願望＝「LOVE」を、財団のコレクションと現代アート作品の展示を通じて明らかにし、装うことのおもしろさや奥深さの再認識を促した。また、三菱一号館美術館との共催で「アール・デコとモード　京都服飾文化研究財団（KCI）コレクションを中心に」展も開催した。さらに、これらの展覧会の関連プログラムとして講演会なども開催し、研究活動の深化と普及にも取り組んだ。

近年は財団のサイトや SNS などを通じて、展覧会のギャラリートークや設営風景などの動画も発信しており、海外からのアクセスも多い。同財団の活動は、ファッションと私たちをつなぐとともに、ファッションへの向き合い方を問いかけ続けている。

【受賞理由】

●文化財としての保存が難しいといわれる衣服を収集・保管し、貴重なコレクションを形成している。

●国内および海外の美術館とのネットワークを構築し、ファッションの研究を深め、公開活動を行っている。



「LOVE ファッション―私を着がえるとき」展
（会場：京都国立近代美術館）©KCI 福永一夫撮影

＜受賞コメント＞ **公益財団法人京都服飾文化研究財団 理事長／株式会社ワコールホールディングス 名誉会長 塚本能交 様**

このたびは、栄えある優秀賞を賜り、心より御礼申し上げます。1978 年、株式会社ワコールの出捐により設立された京都服飾文化研究財団は、服飾を文化として捉え、西洋服飾の歴史的資料の収集・保存・研究・公開に努めてまいりました。ファッションは常に時代と社会を映し出し、世界と響き合いながら展開しています。私どもは、それらにかかわる研究から得られた知見を国内外の美術館との協働による展覧会を通じて広く社会へ届けてまいりました。このたびの受賞を励みとして、今後も服飾文化の豊かな価値を次世代へ継承し、心豊かな社会の実現に貢献してまいる所存です。

【団体プロフィール】
公益財団法人京都服飾文化研究財団 （2026 年 3 月末現在）

団体所在地	：京都府京都市
主な事業	：17 世紀以降の西洋服飾資料の収集・保存・研究・公開事業
URL	：https://www.kci.or.jp/

【企業プロフィール】
株式会社ワコールホールディングス （2026 年 3 月末現在）

本社所在地	：京都府京都市
主な事業	：インナーウェアを中心とする繊維製品および関連製品の製造・販売
URL	：https://www.wacoalholdings.jp/

■「メセナアワード 2026」受賞活動の紹介

優 秀 賞 ：　－記憶に残る香りの文化で五感をひらく－

高砂香料工業株式会社

高砂コレクション®ギャラリー

「香りは文化である」という考えのもと、高砂香料工業は東京都大田区の本社オフィス内に高砂コレクション®ギャラリーを開設し、文化活動の一環として運営している。高砂コレクション®は、水戸徳川家伝来の香道具「梅松蒔絵十種香箱」を 1964 年に譲り受けたことを契機に始まり、1990 年代からは香りや香料に関する資料の本格的な収集を開始した。現在では、古代オリエントの香油瓶から 20 世紀の香水瓶、日本の香道具や香木、香りに関する絵画・ポスターまでを含む幅広いコレクションへと発展している。

高砂コレクション®ギャラリーでは、同コレクションの一部を無料で公開しており、常設展示に加え、2024 年からは香りをテーマとする企画展の開催も開始した。

2025 年には、日本における香文化を紹介する企画展「日本の雅―香文化の 1400 年」を開催。仏教の伝来とともに大陸から伝わり、日本で独自の発展を遂げた「香」の文化を体系的に紹介した。また「聞香体験会」や「香文化セミナー」も実施し、各回とも定員を大幅に上回る申し込みがあるなど、好評を博すイベントとなった。

現代社会では、インターネットやスマートフォンの普及により、視覚と聴覚を介して得られる情報が増加するものの、他の身体的体験は減少しているといわれる。一方で、香りの文化は古代より人間の営みに寄り添って発展してきたものであり、生活に香りを取り入れることは、人々のウェルビーイングの向上にもつながる、と考えられている。

高砂香料工業は、高砂コレクション®ギャラリーの活動を通じて、香りの文化的価値を発信することにより、人々がより豊かに生きるための機会を提供している。

【受賞理由】

●古代から人間の営みとともにある香りの文化を、充実したコレクションとともに体系的に整理し、その価値に光をあてている。

●現代社会をよりよく生きるために、香りの大切さを再認識する場を提供している。



高砂コレクション®ギャラリー 展示室

＜受賞コメント＞ **高砂香料工業株式会社　代表取締役社長　水野直樹 様**

このたびは、「高砂コレクション®ギャラリー」の活動に対し、このような栄誉ある賞をいただき、光栄に存じます。高砂香料工業は 1920 年の創業以来、B to B 企業として間接的に香りを皆さまの生活へとお届けする活動を本業としてまいりました。対照的に、今回の受賞はギャラリーを通じて「香り文化」を直接お伝えする活動が評価されたものと感じております。

当社は今後もさらに世の中を豊かにする香りの価値を知っていただくための活動を強化してまいります。ぜひ、蒲田・アロマスクエアの「高砂コレクション®ギャラリー」に足を運んでみてください。香りの奥深い世界を体験していただきたいと思います。

【企業プロフィール】 高砂香料工業株式会社　（2026 年 9 月現在）

本社所在地	： 東京都大田区
主な事業	： フレーバー、フレグランス、アロマイングリディエンツ、ファインケミカルの製造・販売（輸出入を含む）
URL	： https://www.takasago.com/

■「メセナアワード 2026」受賞活動の紹介

優 秀 賞 ： －危機にある伝統と先端技術が出会い、未来を創る－

ヤマハ株式会社

沖縄三線文化継承プロジェクト−技術貢献と共創−

ヤマハは、企業理念「感動を・ともに・創る」のもと、技術で文化に貢献するため、2023 年より沖縄県三線製作事業協同組合、沖縄県立芸術大学、琉球大学と共同で研究を進める「沖縄三線文化継承プロジェクト」に参画している。

同プロジェクトには、材料の枯渇や職人の後継者不足、海外産三線とのすみわけなど、三線にかかわるさまざまな社会課題を解決するため、職人・演奏家・研究者ら多様な専門家が集結。ヤマハは楽器と感性研究のプランニングおよび技術提供の役割を担う。

三線の製造や教育に携わった経緯はないが、ヤマハは総合楽器メーカーとして長年「モノ（楽器）」と「ヒト（感性）」の研究を重ねてきた。その技術・知見や実験施設・計測機器などを積極的に活用し、材料・楽器のふるまい・感覚・音色の表現語など幅広いテーマに取り組み、伝統と先端技術を掛け合わせた創造的な課題解決に貢献している。

「研究」と「社会実装」の 2 つの軸で、2025 年度は職人の繊細な感覚で調整される皮の張り加減を「音」を用いて数値化するとともに、独自材によるパーツ（カラクイ）の試作を実施。また自社保有の銀座・ヤマハホールにてレクチャーコンサートを開催した。

同コンサートは、第一部の取り組み・研究を紹介する講演と、第二部の専門家の解説を交えた実演で構成。参加者にとって、三線をとりまく文化や音色の多様さを研究と演奏の両面から体感し、伝統を未来へつなぐことに思いをめぐらせる機会となった。

ヤマハは、地域や伝統文化との共創を通じて知見を蓄積しながら、企業が伝統文化の未来を「ともに創る」ロールモデルの一つとして、先駆的な役割を果たしている。

【受賞理由】

●自社の技術や施設・設備および知見を活用し、地域の伝統と文化の維持・活性化に貢献している。

●地域の団体や大学などと連携・共創し、研究結果の社会実装を目標として取り組んでいる。



職人と研究者が、楽器・感性研究で培った技術・知見をもとに対話を重ねる

＜受賞コメント＞ **ヤマハ株式会社　代表執行役社長　山浦　敦　様**

このたびの受賞を、大変光栄に思います。当プロジェクトは、沖縄県三線製作事業協同組合、沖縄県立芸術大学、琉球大学の皆さまをはじめ、多くの演奏家や関係者の方々との共創によって育まれてきました。ヤマハは音・音楽を原点に培ってきた技術と感性で、三線とそれをとりまく文化に真摯に向き合い、挑戦を重ねてまいりました。それは「技術で文化に貢献する」というヤマハの姿勢を体現するとともに、未来への新たな可能性をひらく挑戦でもあります。今回の受賞を励みに、三線をはじめとする音楽文化の未来をともに築きながら、「世界中の人々の心豊かなくらし」の実現を目指してまいります。

【企業プロフィール】 ヤマハ株式会社　（2026 年 3 月末現在）

本社所在地	： 静岡県浜松市
主な事業	： 楽器事業、音響機器事業、その他事業
URL	： https://www.yamaha.com/ja/

■「メセナアワード 2026」受賞活動の紹介

優 秀 賞 ：　－美味しい、豊かな時間をつくり続ける－

株式会社六花亭

ふきのとうホール・真駒内六花亭ホール・はまなしホールのコンサートシリーズ

北海道帯広市に本社を構える六花亭は、「お菓子は文化のバロメーター」という思いを文化活動の原点とし、児童詩誌「サイロ」の発行や六花の森・中札内美術村の運営など、多くの企業メセナを実践しており、ホールの運営や主催コンサートの開催などの音楽支援も文化活動として長年続いている。

同社の音楽支援は、1982 年に帯広本店 2 階の喫茶室でサロンコンサートを開いたことをきっかけに始まった。現在、同店の 4 階には「はまなしホール」が設置されている。広間に演奏者のためのひな壇と椅子が設置されるサロンコンサート用のホールで、演奏者との距離の近さが魅力的なホールである。

「ふきのとうホール」は、2015 年、札幌本店 6 階に開館した全 221 席の室内楽専用ホールであり、開放的なロビーにはふきのとうを描いたフレスコ画の壁面が広がっている。近隣の音楽教室が発表の場を探している、という情報が六花亭に伝わり、札幌本店の開業計画にホールが盛り込まれたという。室内楽に特化した音響設計が施され、東日本大震災があった 3 月 11 日には、毎年、「鎮魂」コンサートを開催。また、若い音楽家をレジデントアーティストとして迎え、世界へ羽ばたく音楽家の育成・支援にも取り組んでいる。

「真駒内六花亭ホール」は、通常は店舗として営業しているが、2 カ月に一度、室内楽ホールへ姿を変え、休憩時には特製のデ・セールが提供される。

地域に根ざす建築や文化を「社会資本」とみなし、企業として社会資本づくりを続ける六花亭の経営哲学は、北海道の自然を映すお菓子とともに、文化の香り豊かな時間を生み続けている。

【受賞理由】

●ホール運営やコンサート開催、レジデントアーティスト制度などを通じて、音楽文化の普及および振興に貢献している。

●お菓子づくりとともに、文化を育てる取り組みが、地域の豊かさを育んでいる。



221 席の室内楽ホール「ふきのとうホール」

＜受賞コメント＞ **株式会社六花亭　代表取締役社長　小田文英 様**

開店 50 周年を記念し、第1回デ・セールコンサートを行ったのが、1982 年のことです。デ・セールはフランス語でデザート。弊社の帯広本店喫茶室にて「お菓子とお茶と音楽と」というコンセプトで開催。1年間のつもりで始めたことでした。

現在、3 つの音楽ホールにてコンサートを開催しておりますが、第一線で活躍されている演奏者にお越しいただく、ふきのとうホールコンサート。若手の登竜門として期待を寄せる真駒内六花亭ホールコンサート。音楽事業の原点となる、はまなしホールコンサート。当初と、思いは変わりません。おかげさまで、40 年以上、続けることができておりますこととあわせて、うれしく思っております。

【企業プロフィール】株式会社六花亭　（2026 年 7 月現在）

本社所在地	： 北海道帯広市
主な事業	： 和洋菓子製造・販売
URL	： https://www.rokkatei.co.jp/

■「メセナ大賞・優秀賞」トロフィー

メセナアワードでは、若手作家に新作トロフィーを依頼・制作しています。
2025 年～2027 年は作家の藤沢恵氏が制作を行っています。
トロフィーは「メセナアワード 2026」贈呈式（2026 年 11 月 25 日[水] スパイラルホール）にて、表彰状とともに受賞各社・団体に贈られます。



Cycling Moon

2025 年
240×270×80mm
大理石、真鍮、アクリル板

撮影：佐藤 茂

【作家プロフィール】

藤沢 恵（ふじさわ めぐみ）



1985 年岩手県生まれ。2010 年東北芸術工科大学芸術文化専攻彫刻領域修了。
真逆の性質を持つ石と金属を用いて、「事象の汀渚」をテーマに作品を発表している。近年は透明アクリル板を素材に加え、モニュメント制作を手掛ける。
2022 年 UBE ビエンナーレにて柳原義達賞受賞。その他受賞、入選多数。